プイスカ FURUSATO!2月号

~オイスカ四国のふるさとづくり~

修生や外部

の方たちにも参加

して

OISCA Young Leaders オイスカヤングリーダーズ

~若い力で地域を盛り上げる~

もらっ ティングなど具体的な活動内 オイスカ四国研修センター オイスカ活動や地域貢献、 て知識や技術、 から話し合 います。地域貢献活動 の幅を広げていけ 募集中です。 0 農業体験 価値観を共 きま 11 合

蔵以下)を集めて、 オイスカ活動が活発に行われる から考えて 今後を見据えた人材の確保や イスカのこ 有志の

新規の活動をどうして 来を見据えて準備し がさらに必要になってきます。 て行こうというものです。 カを軸とした新しい繋がり オイスカスタッフに限らず、 地域に根差した活動を、 若い 人たちによる視野 0 う、 くか考え を作っ オイ そ 研 カ将

たときに、

こで、



今回は準備もままならない

と思いま

と考えています。

今後はじ

ダーズの活動には多く

状態で始めま











放射能の きっかけに東北と四国が繋がっていける関係に 薬を使わないミカンは大変喜ばれました。これ る被災者の人たちも多くい 頂きました。 さん通りがかりにも関わらず、積極的に募金をし 三好さんが管理しているミカン畑のミカンを皆大震災で避難した人達に送りました。メンバーの1回目のプロジェクトとして、ミカンを東日本 なればと思 てくれました。 募金で賄い ンブー 6した。依然、東北では避難所で生活してい1月10日(月)の四国新聞でも取り上げて 汚染の心配もあ 現地に約4 またギターやパプアニュー などで呼びかけもにぎやかに りましたが、香川 、ます。 0 ㎏送りました。 駅滝宮で行った街 食べ物に ギニア 県の 皆頭

引・ 込めて作った「ァ '・´ た職業訓練プロジェクト。 し 14年に開始した

しできるようになりたいです。

日本語も頑張って皆さんとも

「センパイ」になれるよう頑張

やんとできるかドキド

ーキして

食品加工指導

1 名

(フィリ

名(マレ

名

農業指導1名(パプアニュ

ーギニア

いろいろ教えることになり





加ご希望の方は 参加は無料です

せ先:オイスカ四国研修センタ

吉



までご連絡ください

0

8 7

3

3 3 イスカ四国研修セン



2月のイベント予定

			_	
月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
2日	木	四国支部常任幹事会	四国支部	四国支部
3 日	金	香川大学教養学部付属高松小学校交流	香大教育学部付属高松小学校	香大教育学部付属高松小学校
		四国 NGO ラウンドテーブル	四国 NGO ネットワーク	松山市
4日	土	コペル帰国		
		お鍋を囲んで語ろうの会	妙楽寺 ご縁の会	妙楽寺
10 日	金	坂出市国際交流協会料理交流会	坂出市国際交流協会	坂出市
25 日	土	入所式	四国研修センター	四国研修センター
26 日	日	綾川町綱引き大会	綾川町	綾川町総合体育館

「FURUSATO!」2月号 発行 公益財団法人オイスカ四国研修センター 〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1 TEL 087-876-3333 FAX 087-876-3334

計画サポートプロジェクト

©OISCA X

家政研修生の

、イです。

では

1

 $\dot{\exists}$

ナー

とがたくさんあって、

私の

頭は

つもぐるぐ 覚えるこ

V) V)

ですが、

せんが、

やる気いっぱいの研修生です

ぜひお越しくださ

に来たばかり

別れと出会に

ってきます

VALUE BGGKS

生でし

よう

あまりできま

と出会い

 \mathcal{O}

季節

入所式のご案内

だから料理の時は難し

などに

トに書くようにして

ます

から新し

研修生に生活のこと、

E-mail; oiscastc@oisca.org ※今月号より FURUSATO が 2 色刷りになりました。ホームページではカラー版を載せておりますので そちらもご覧ください。

三豊推進協議会・カンボジアツア

理され大きく育っています。三豊推進協議会では 今後もこのような活動を通し、 林公園と名付けられ、 るなどしました。その植林地は現在、オイスカ森から5年間に渡り植林を行っていた場所を訪れ 協議会の を築いて 昨年の を訪問しました。このツア メンバ 12きたい 月 2 日 と考えています。 を中心とし ら 7 植えられた木々が大切に管 日に た -では 2 カュ 同国と良好な関係 **23** 名が けて、 0 デカンボジ 三豊推進 0 5 年



参加者の感想

植えるという活動だけではなく、植林を通して異国の文化や 交流を大切にしています。特に現地の子供たちと一緒にする植林は心 加させて頂きました。オイスカ三豊の植林活動というのは単に木を カンボジア植林が、 12 月 に 7 年ぶ りに復活ということで私 々 との

そして精一杯接してくれる思い 子供たちのひたむきさ、 洗われました。 ました。 供たちに教えられたような気分になり 感じました。まさにオイスカの基本理念 精神的には豊かになった植林、私にとっ である産業、精神、文化の促進を逆に子 て有意義な経験でした。 体力的にはきつか 言葉はわかりませんが、 純粋さ、 ったですが やりを 強さ、



タイムマネージメント

ルを立てて農業ミー

テ

ングで

また何

皆様どうも有難うございました

思いました。
思いました。

どん私

たち研修生が日本でやらなければならないことのなふうに成り立っているのかを知り、日本の人た

会員さん、

学生、

地域の方、

いろいろな人と交流させて

ただきまし

人たちと

__

つだといい

2年間で勉強したこと

・タイムマネージメント 一日のスケジュールを立あきらめないことと教える工夫の大切さを勉強しました。わかりやすく説明してくれる先生や自分もできなかったません。言葉が難しいし、何度話してもできないことがあ

かりやすく説明してくれる先生や自分もできなかったことを思い

れる先生や自分もできなかったことを思い出しました。何度話してもできないことがあります。そういった時は

指導 自分も勉強ですが、研修生にも農業・生活のことなど教えなければな本で教わった土づくりやぼかしなどを活かして農業技術の向上に取り組みます。で知識をより正確に深く身につけることができました。パプアニューギニアで

野菜の管理を一

人で責任をもってしました。2年間

ノアニュー順べんきょ

きょうすること

ニアで日

日本の子どもたちは田んぼが初めて でびっくり。でも皆一生懸命やって

日本語でポイントを絞って教えます

くれました。

バンブーバンドは私のトレードマ ク!楽しんでいただけましたか?

が多

い香川

だければ嬉しいです。はラバウルセンター 度はわたしがスタッフとして研修生をサポりがとうございました。国へ帰ってからオ 最後にオイスカ会員の が 30周年を迎えます。 それではみなさま、 みなさま たくさんの からオイス またお会い ちょっと遠いですが、 -したい サ ポ ウル · と 思 を センター います。 1 ただき、 よう ぜひ来て また、 に戻り、 本当に 11 あ

愛媛県支部活動報告

いる木々を救済すべく、蔓や下草を取り除い夏の気候の中、枯れてしまった木々の補植。媛県発祥の「陽光桜」を中心に植林を行ってい 数精鋭で頑張りました!!この活動は 植林&| 下草 11 月 12 ŋ 日 を行 いました。 ました。参加人数は13名と少な目で松山空港そばにある忽那山(標高49 2 0 、ます。 そして、 年春にスター 今回は、 元気で頑張って 49 $\underbrace{\mathsf{m}}$ 昨年の暑

たいと思っています。 今年の春も、 迎してくれて には濃いピンクの花を咲かせ、私たちを3 mほどの大きさに生長した木もあり、 く作業を行いました。 (愛媛県支部・佐々木) 花見を兼ね、 います。 暦の 初年度に植えた桜は 上では、 植林活動を行 ぜひ、 私たちを歓 立春



宮嶋会長自ら鎌をふるいました!

国三大学学生宿泊

学をし、 ンが行わ る時間はわず の農山漁村で展開する協働サ 七十名による研修会が開催されました。 四国 新しい活動ができればと思います。今後いろいろなことに興味を持って 来月のインドネシアでの実地体験を前に事前のオリエンテー の三大学(香川大学、 れたものです。 ンドネシアのオイスカセンターを訪れる参加者もいまし 22 かですが、 旦 今年も一泊二日の日程で四国研 研修会中、 昨年はこのプログラムの後、 愛媛大学、 ービスラーニング・プログラム」の オイス これは (永山) いる学生 カや研修生に 知大学)学生、 「日本・ の皆さん 修セ インドネ 1 ンタ 9 いて説 シド 先 生 に於 シア 方総 ネ 明シー環 シ総か 留

ホ 人 ステ

ました。お父さん、お母さん本当にあ 大掃除や畑の作業をお手伝いしたり、 他にもおばあさんの家へ行ったり、 理がとても上手でおい 料理を作ってくれました。お父さんは料た。また、この日はお父さんがたくさん とてもきれいでいい思い出になりまし インドネシアで見たことがありません。 させてい がとうございました。 ても楽しい 橋へ行きました。あんな大きな池と橋は お母さんと一緒にまんのう池と瀬戸 技能実習生の メ ただきました。 いお正月を過ごすことができ畑の作業をま月6し \mathcal{O} ナジルです お家に しかったです 大みそかの お正月 ムステイ 家の オイ 日

した。が、作業の前にわかりやすく研修生に説明したりしてスムーズに進むようにしが、作業の前にわかりやすく研修生に説明したりしてスムーズに進むようにしをするか考えなければなりません。時間通りにできないこともあって大変でします。研修生と一緒のときは全体の進み具合を見ながら次に話し合い、作業をします。研修生と一緒のときは全体の進み具合を見ながら次に

まで香川での生活にもだいぶ慣れまし 習先へ行きます。 タ わたしとエピンは、去年 にいましたが ですけ \mathcal{O} 21日かれ 21 12 月から ら実 げさ



からも